



# なばり

2014年(平成26年) 9月7日発行

### 主な内容

- 2……平成26年度 肺がん・肺結核検診<胸部レントゲン検査>
- 3……ご存知ですか? 私立幼稚園の補助金制度
- 4……9月10日は「下水道の日」、「ひやわんまつり」を開催

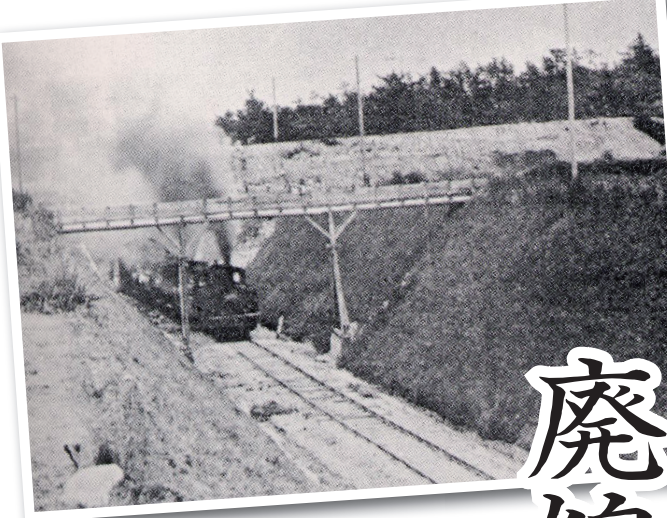
発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

**名張市**  
**のだよ**

NABARI HISTORY LETTER  
No. 12  
平成26年9月7日

## 旧伊賀線

# 廃線から半世紀



伊賀鉄道(新田水路下を通る)



旧伊賀線の沿線図

### 伊賀鉄道誕生

明治26年に設立された伊賀鉄道株式会社(初代)は、伊賀地域で初めて鉄道の敷設に乗り出しました。奈良県宇陀郡榛原町から名張町を経由し上野町までを結び、西は大阪鉄道、北は関西鉄道へと接続する計画でした。しかし残念ながら、明治33年に開通を見ずして同社は解散してしまいました。月ヶ瀬鉄道や伊和鉄道、上名鉄道などが計画を引き継ぐこととなりましたが、実現はできませんでした。

昭和39年10月1日に東海道新幹線が開業しました。その9日後には東京オリンピックが開幕し、日本は、高度経済成長の真っただ中でした。一方、名張市では、同じ日の昭和39年10月1日に近鉄「旧伊賀線」伊賀神戸―西名張間が静かに廃線となった日でもありました。今号は、廃線から50年を迎える旧伊賀線の歴史を振り返ります。

市史編さん担当 64・2249

### 名張の近代化に貢献

この鉄道の開通は名張にとって近代交通の幕開けとして、お春日

そんな中、新たに伊賀軌道鉄道株式会社が設立され、大正5年(1916)に伊賀上野―上野町3・9キロ間が開通しました。大正8年には社名を伊賀鉄道株式会社(二代目)に変更し、建設費147万円余りをかけ上野町―名張町22・4キロ間を大正11年7月ようやく完成させます。今から92年前の出来事です。

さん(宇流富志神社)の参道を町中から真つすぐ延長させた現在の西名張郵便局の交差点付近に終点の名張駅が開設されました。このことよって一躍、名張町の表玄関として周辺の市街地化が進み、翌年には工業製品出荷の利便を考慮して、株式会社高北農機製作所(現株式会社タカキタ)が駅前工場を開設しました(現イオン名張店の場所)。また、当時名張の主要産業であった材木の貨物輸送のため、多くの木材商が駅周辺に集まり、大正13年には木屋町が誕生しています。

### 往年を偲ぶ線路敷き

旧伊賀線の沿線を見ていきますと西名張駅を出発して、アドバンスコープADSホールの裏手を抜けて県道57号線と平行に今でも線路道が残されています。最初の駅は東町集会所の近くにあった八丁

駅で、そのまま名張高校の前を通り現在の蔵持公民館の所に蔵持駅がありました。蔵持駅を抜けると大阪線と並走し、ちょうど桔梗が丘駅の裏を通り、県道57号線と並走しながら現在の北中学校近くの西原駅へ続いていきます。南西原の伊賀コリドールロードの高架のところで大阪線と立体交差をし、やがて小波田川に差し掛かります。そして新田の水田地帯を抜けると「貴人塚」近くに美旗新田駅がありました。新田を出ますと新田水路の土手に差し掛かり、昨年まで一部残されていたトンネルをくぐり、最後に伊賀神戸駅に至り現在の伊賀線へと続きます。

旧伊賀線の面影は、50年の歳月とともにほとんどが失われましたが、往年を偲ぶ線路敷きは市内各地に今も残されています。東町から桔梗が丘駅へ続く線路敷きを利用した道路はいくつかの小さな橋が架けられています。この橋を下から見上げると鉄橋の骨組みが橋を支えているのを確認できます。

これからの行楽シーズン、名張の近代化を支えてきた旧伊賀線敷きを散策してみてもどうでしょうか。



旧伊賀線の西名張駅

毎月11日は「人権を確かめあう日」

毎月22日は「男女共同参画について考える日」

1965年8月11日に「同和対策審議会答申」が出されたことを記念して制定されました。

2004年6月22日に、名張市が男女共同参画都市宣言をしたことにより制定しました。

名張の歴史(考古)を知るなら ▼第1巻『名張市史資料編 考古』▼第2巻『名張市史資料編 古代』書籍版 5000円 CD-ROM版 15000円  
▼『おぎつもの名張 今と昔』8000円 好評販売中です。 市史編さん担当 64・2249